

くすりのしおり

内服剤

2018年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：エレトリプタン OD錠 20mg 「アメル」

主成分：エレトリプタン臭化水素酸塩 (Eletriptan hydrobromide)

剤形：淡黄色の錠剤、直径約 8.0mm、厚さ約 2.9mm

シート記載：（表）エレトリプタン OD20mg 「アメル」
（裏）Eletriptan OD20mg 《AMEL》、エレトリプタン OD20mg 「アメル」、片頭痛治療剤



この薬の作用と効果について

頭蓋内の拡張した血管を収縮させ、その血管周囲の炎症を抑えることにより、片頭痛の痛みを改善します。通常、片頭痛の治療に用いられます。片頭痛があらわれた時に飲み、予防的に飲む薬ではありません。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。心筋梗塞の既往歴、虚血性心疾患、異型狭心症（冠動脈攣縮）、脳血管障害や一過性脳虚血発作の既往、末梢血管障害、高血圧症、肝機能障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回1錠（エレトリプタンとして20mg）を片頭痛の痛みが起こったときに服用します。効果が不十分な場合は、前回の服用から2時間以上の間隔をあけてもう1錠（20mg）追加服用できます。また、1回1錠（20mg）で効果が不十分であった場合には次回の片頭痛発現時から1回2錠（40mg）に増量されますが、1日の総服用量は2錠（40mg）までとされています。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・効果がまったくない場合は、その頭痛発作に対して、更にこの薬を飲まないでください。その頭痛は片頭痛でない可能性があります。必ず再度医師に診察してもらい、頭痛の原因について確定診断をしてもらうことが必要です。
- ・この薬は、舌の上のせて唾液を含ませると溶けるため、水なしで飲むことができます。また、水で飲むこともできます。寝たままの状態では、水なしで飲まないでください。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・片頭痛あるいはこの薬により眠くなることがありますので、自動車の運転など危険を伴う機械操作などはしないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、めまい、眠気、吐き気、口内乾燥、疲労などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・冷汗、じんましん、呼吸困難 [アナフィラキシーショック、アナフィラキシー様症状]
- ・動悸、胸痛、めまい [不整脈]
- ・胸の痛み・圧迫感・狭窄感、冷汗 [狭心症または心筋梗塞を含む虚血性心疾患様症状]
- ・全身または局所の筋肉の突っ張り・震え、意識障害、逆行性健忘 [てんかん様発作]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添

付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。